



CGI-Park 名人シリーズ

送信名人 システム管理者マニュアル Ver1.1



本マニュアルの対象商品

✓送信名人 Ver 1.0.1

目次

1. はじめに
 - 1-1. 本ソフトの概要と主な特徴
 - 1-2. CGIの動作環境
 - 1-3. 本ソフトのファイル構成と付属ドキュメント
2. 初期設定
 - 2-1. ログファイルの拡張子の設定
 - 2-2. Perlのパスの設定
 - 2-3. 複数の製品を組み合わせて利用する場合の設定
 - 2-4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定
 - 2-5. 特定の領域でのみCGIが動作するサーバでの設定
3. サーバへのセットアップ
 - 3-1. サーバへのアップロード
 - 3-2. パーミッションの設定
 - 3-3. セットアップ開始
 - 3-4. セットアップ完了
4. 管理画面の設定
 - 4-1. 試用開始
 - 4-2. システム管理者パスワードの設定
 - 4-3. 環境設定
 - 4-4. フォルダ位置の設定
 - 4-5. 管理者アカウントの設定
5. グループの管理
 - 5-1. グループの登録
 - 5-2. グループのテーブル設定
6. ユーザーの管理
 - 6-1. ユーザー管理について
 - 6-2. ユーザーの登録
 - 6-3. ユーザーの削除
 - 6-4. ユーザーリストのダウンロード
7. メールの送信
 - 7-1. メールの個別送信
 - 7-2. メールの一斉送信
 - 7-3. メールの送信履
8. その他の技術情報
 - 8-1. 管理画面へのログイン履歴
 - 8-2. 管理メニューの設定
 - 8-3. 本ソフトのライセンス情報について
 - 8-4. システムのアップデート
 - 8-5. システムの再構築

1. はじめに

1-1. 本ソフトの概要と主な特徴

DMなど一斉に電子メールを送信するCGI

複数のメールアドレスに対して一斉にメール送信が行なえるCGIです。送信するメールアドレス(ユーザー)は、管理画面上から個別に登録していくほか、CSVファイルやエクセルファイルからも一括して取り込むことができます。また、登録するユーザーはグループごとに管理できるので、グループ別に内容を変えたメールを送信することもできます。

主な特徴

1. **管理画面上から簡単操作で複数のユーザーへメール送信が出来る**
メールの差出人、件名、本文を入力するだけで、登録されているメールアドレス宛に一斉にメール送信が行なえます。
ダイレクトメールの送信や社内連絡用としてご利用いただけます。
2. **ユーザーをグループ別に管理できるため、グループ毎にメール送信が出来る**
登録するユーザーはあらかじめ作成しておいたグループに所属させる形で登録を行ないます。
グループ毎にユーザーを登録することで、それぞれのグループに対して別々のメールを送信することが出来るようになります。

たとえば、「20代の会員」「30代の会員」・・・といったように世代別にグループ分類することで各年代に合わせた最適なDMを送信することが出来るようになります。

3. **グループ毎にユーザーテーブルをカスタマイズできる**
グループ毎に自由にユーザーテーブルをカスタマイズすることが出来ます。
通常はメールアドレスだけ登録していればメール送信を行なうことが出来るのですが、利用目的に応じて、名前や生年月日、会社名等の任意の属性情報をユーザーテーブルに追加していくことが出来ます。

ユーザー属性を追加することで、メール送信を行なう際に個々のユーザーに対して、ユーザー属性を含んだメールを送信することが出来るようになります。

4. **ユーザーの登録はエクセルファイル等から一括して登録できる。**
送信名人へのユーザーの登録は一軒一軒手動で登録していく方法と、CSV形式のユーザーリストファイルを作成して一括で登録する方法があります。

一括登録を行う場合、メールアドレスが誤っている場合や、すでに登録されているメールアドレスがある場合でも、自動的に判別し、正しいメールアドレスだけ登録されるようになっています。

5. **各ユーザー毎に個別に名前等を付けてメールを送信することが出来る**
通常のDMの送信は同じ内容のメールを一斉に複数のユーザーに対して送ります。送信名人ではそのような送信方法のほかにユーザー一人一人に名前やメールアドレス、登録された属性を付けて個別に送信することが出来ます。

たとえば「〇〇様へ特別なご案内です」といったような内容のDMを送信することが出来るのです。

1-2. CGIの動作環境

本CGIは下記の条件を満たしているWEBサーバにおいて動作するように設計されています。

ただし、下記の条件を満たしている場合でも必ず動作するわけではありませんので、本ソフトを購入する前に必ずWEBサーバでの動作確認を行なってください。

【動作環境】

- ✓ サーバのOSがUNIX系のOSであること
- ✓ Perl 5.00503 以上がインストールされていること
- ✓ Sendmailが利用できること

1. はじめに

1-3. 本ソフトのファイル構成と付属ドキュメント

✓ 本ソフトは以下のファイルで構成されています。

<input checked="" type="checkbox"/> フォルダ <input type="checkbox"/> ファイル	説明
<input checked="" type="checkbox"/> sousin1_0_1	解凍後に出来上がるフォルダ。後ろの数字はバージョンを表しています。(1_0_0 → Ver 1.0.0)
<input checked="" type="checkbox"/> sousin	本ソフトのフォルダ
<input checked="" type="checkbox"/> cgi	各種CGIプログラムの格納フォルダ
<input type="checkbox"/> conf.pl	システム基本情報の定義ファイル
<input type="checkbox"/> folder.pl	フォルダ情報の定義ファイル
<input type="checkbox"/> setup.cgi	システムセットアップ用プログラム
<input checked="" type="checkbox"/> image	各種イメージファイル、スタイルシートを格納
<input type="checkbox"/> *.gif, *.jpg	管理画面で利用している各種イメージファイル
<input type="checkbox"/> font.css	フォント設定を記述したスタイルシート
<input type="checkbox"/> style.css	テーブルやセルのデザインを記述したスタイルシート
<input type="checkbox"/> window.js	管理画面で用いる各種JavaScript
<input checked="" type="checkbox"/> log	ログファイル格納フォルダ
<input type="checkbox"/> conf.log	環境設定定義ファイル
<input type="checkbox"/> index.htm	ダミーHTMLファイル
<input type="checkbox"/> meijin.log	システム基本情報定義ファイル
<input type="checkbox"/> menu.log	管理メニュー定義ファイル
<input type="checkbox"/> system.log	システム構成定義ファイル
<input checked="" type="checkbox"/> ドキュメント	本ソフトの付属ドキュメントを格納
<input type="checkbox"/> ソフトウェア使用許可契約書.txt	ソフトウェア使用許可契約書(必ずお読みください)
<input type="checkbox"/> システム管理者マニュアル.pdf	システム管理者用マニュアル

2-1. ログファイルの拡張子の設定

ログファイルの拡張子の設定について

システムのセットアップを行なう前に、ログファイルの拡張子の設定を行なう必要があります。デフォルトの拡張子は「.log」となっています。

ログファイルの保存フォルダをWEB公開領域(ブラウザからアクセスすることが出来るフォルダ)に置く場合は拡張子を必ず「.cgi」等の実行形式の拡張子に変更してください。「.log」のままにしておくと、ブラウザから直接ログファイルにアクセスされた際、ログファイルの中身が表示されてしまい、大切な個人情報等が漏洩してしまう可能性があります。

✓ ログファイルの拡張子を変更する

「sousin¥cgi¥conf.pl」というファイルをテキストエディタで開いてください。

```
13行 $log_ext = 'log';
```

と記述された箇所があります。これの'log'の部分を変更したい拡張子に書き換えてください。

ただし、[html][db][mail]を使用することは出来ません。

実行形式の拡張子にしたい場合は[cgi]にすることをおすすめします。

[cgi]にすると、たとえブラウザから直接そのログファイルにアクセスして来た場合でも、「Internal Server Error」となり、ファイルを開くことは出来ません。

2-2. Perlのパスの設定

Perlのパスについて

WEBサーバ上のどこにPerl処理系があるかを示すもので、設置するサーバの環境に合わせてPerlの実行ファイルに記述する必要があります。
不明な場合は、サーバにTelnetでアクセスし、

```
% which perl
```

と入力してみてください。画面にPerlのパスが表示されるはずです。
通常Perlのパスは「/usr/bin/perl」または「/usr/local/bin/perl」のどちらかになると思います。
本ソフトではデフォルトで「/usr/bin/perl」としています。お使いのサーバと異なる場合は下記を参考にして必ず書き換えてください。

✓ Perlのパスを書き換える

「sousin¥cgi¥setup.cgi」と「sousin¥form¥form.cgi」という2つのファイルをそれぞれテキストエディタで開きます。1行目に

```
#!/usr/bin/perl
```

と記述されています。これを設置するサーバの環境に合わせて書き換えてください。

通常は以下のいずれかになると思います。

```
#!/usr/local/bin/perl
```

```
#!/usr/bin/perl
```

```
#!/bin/perl
```


2. 初期設定

2 - 4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定

✎ 本ソフトをSSL領域で利用する場合は以下の設定を行なう必要があります。この設定を行なわないと試用期間を開始したライセンスの登録が正しく行なわれない可能性があります。

✎ 設定方法

「sousin¥cgi¥conf.pl」をテキストエディタで開いてください。(下図参照)
ここで、37行目の \$admin_cgi_path = 「;」にhttps:/// ~ から始まる
「sousin¥cgi¥admin.cgi」までのパスを指定します。

例) \$admin_cgi_path = 'https://www.cgi-park.com/cgi-bin/cgi/admin.cgi';

```
#      admin.cgiまでのフルパス
#試用期間の開始やライセンスの登録がうまくいかない場合に設定を行ないます。
#主にSSL領域に本CGIを設置した場合に設定が必要になります。
#設定を行う場合は、http://またはhttps://から始まるadmin.cgiまでのパスを指定してください。
#例) $admin_cgi_path = 'https://www.cgi-park.com/cgi-bin/cgi/admin.cgi';

$admin_cgi_path = ";
```

2-5. 特定の領域でのみCGIが動作するサーバでの設定

- ✓ CGIなどの実行ファイルを置くディレクトリと、HTMLや画像ファイルなどを置くディレクトリが分かれているサーバに本ソフトを設置する場合、管理画面で利用する画像や外部スタイルシートを読み込むことができず、正常に管理画面を表示することができなくなります。そのため、画像ファイルやCSSファイルが格納されているフォルダを、読み込み可能な領域に移動する必要があります。
- ✓ 設定方法
「sousin¥cgi¥folder.pl」をテキストエディタで開くと「イメージファイル格納フォルダ」の設定箇所があります。

```
### イメージファイル格納フォルダ  
$ImageDir = "../image";
```

ここで、「../image」の箇所を移動先のパスに書き換えてください。相対パスで記述する場合は、admin.cgiから見た位置になります。
「\$ImageDir」を書き換えたら、実際にその位置にimageフォルダを移動させてください。

次項「3-3. セットアップ開始」で行うセットアップの開始画面で図1のように表示されていれば「イメージファイル格納フォルダ」の位置が正しく設定されていることとなります。

図2のようにになっている場合は、「イメージファイル格納フォルダ」の位置が正しくないためスタイルシートが正しく適用されていないことを意味します。再度設定を確認してください。

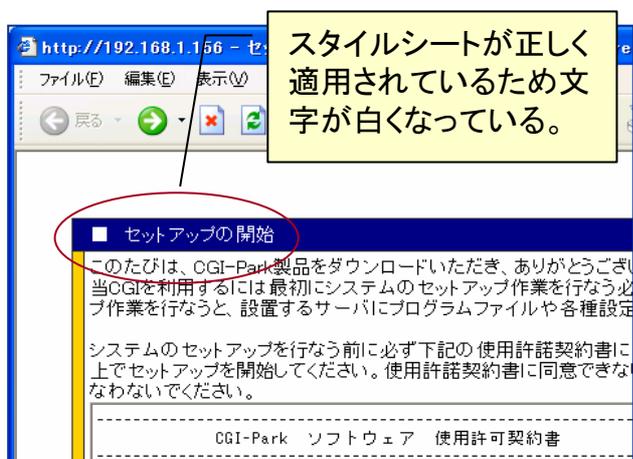


図1:スタイルシートが適用されている状態

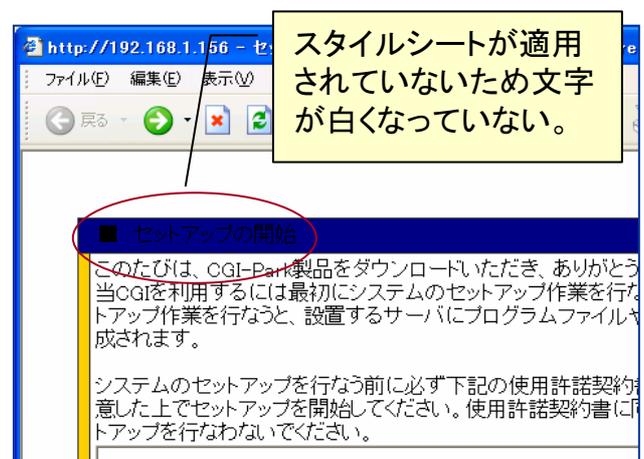


図2:スタイルシートが適用されていない状態

3. サーバへのセットアップ

3-1. サーバへのアップロード

システムの初期設定が完了したら、いよいよセットアップ作業を開始します。まず、「sousin」フォルダ以降をすべてFTPでサーバにアップロードします。（「ドキュメント」フォルダはアップロードする必要はありません。）ちなみに、「sousin」というフォルダ名は、好きな名前に変更することが出来ます。必要に応じて変更してください。

例では、下記のようにcgi-binフォルダ以降にアップロードすると仮定します。

- web ← WEB公開フォルダ
 - └─ ■ cgi-bin ← CGIファイル格納フォルダ
 - └─ ■ sousin ← 本ソフトのアップロード先
 - └─ ■ cgi
 - └─ ■ image
 - └─ ■ log

3. サーバへのセットアップ

3-2. パーMISSIONの設定

本ソフトをサーバにアップロードしたら、お使いのサーバに合わせてパーミッションを変更してください。CGIの動作権限がowner権限かother権限かでパーMISSIONの設定方法が異なる場合があります。

<input checked="" type="checkbox"/> フォルダ <input type="checkbox"/> ファイル	Owner権限	Other権限
<input checked="" type="checkbox"/> cgi-bin		
<input checked="" type="checkbox"/> sousin	変更不要	707
<input checked="" type="checkbox"/> cgi	変更不要	707
<input type="checkbox"/> conf.pl	変更不要	606
<input type="checkbox"/> folder.pl	変更不要	606
<input type="checkbox"/> setup.cgi	705	705
<input checked="" type="checkbox"/> image	変更不要	707
<input type="checkbox"/> *.gif, *.jpg	変更不要	604
<input type="checkbox"/> font.css	変更不要	604
<input type="checkbox"/> style.css	変更不要	604
<input type="checkbox"/> window.js	変更不要	604
<input checked="" type="checkbox"/> log	変更不要	707
<input type="checkbox"/> conf.log	変更不要	606
<input type="checkbox"/> index.htm	変更不要	変更不要
<input type="checkbox"/> meijin.log	変更不要	606
<input type="checkbox"/> menu.log	変更不要	606
<input type="checkbox"/> system.log	変更不要	606

3. サーバへのセットアップ

システム管理者マニュアル Ver1.1

3-4. セットアップ完了

セットアップが完了すると、システムに必要なプログラムファイルや設定ファイルが作成されます。

★マークが付いている箇所がセットアップ後に作成されたファイルやフォルダとなります。

■フォルダ □ファイル	説明
■ sousin	本ソフトのフォルダ
■ cgi	各種CGIプログラムの格納フォルダ
□ admin.cgi ★	管理画面メインプログラム
□ conf.pl	システム基本情報の定義ファイル
□ folder.pl	フォルダ情報の定義ファイル
■ data ★	データファイル格納フォルダ
■ html ★	システムHTMLファイル格納フォルダ
■ image	各種イメージファイル、スタイルシートを格納
■ lib ★	CGIライブラリ格納フォルダ
■ log	ログファイル格納フォルダ
□ index.cgi ★	管理画面トップページ

セットアップが完了すると、セットアップ用CGIプログラムがなくなり、代わりに管理画面用メインプログラム等が新に作成されます。

セットアップの開始画面が

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/sousin/cgi/setup.cgi>

の場合、管理画面のトップは

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/sousin/index.cgi>

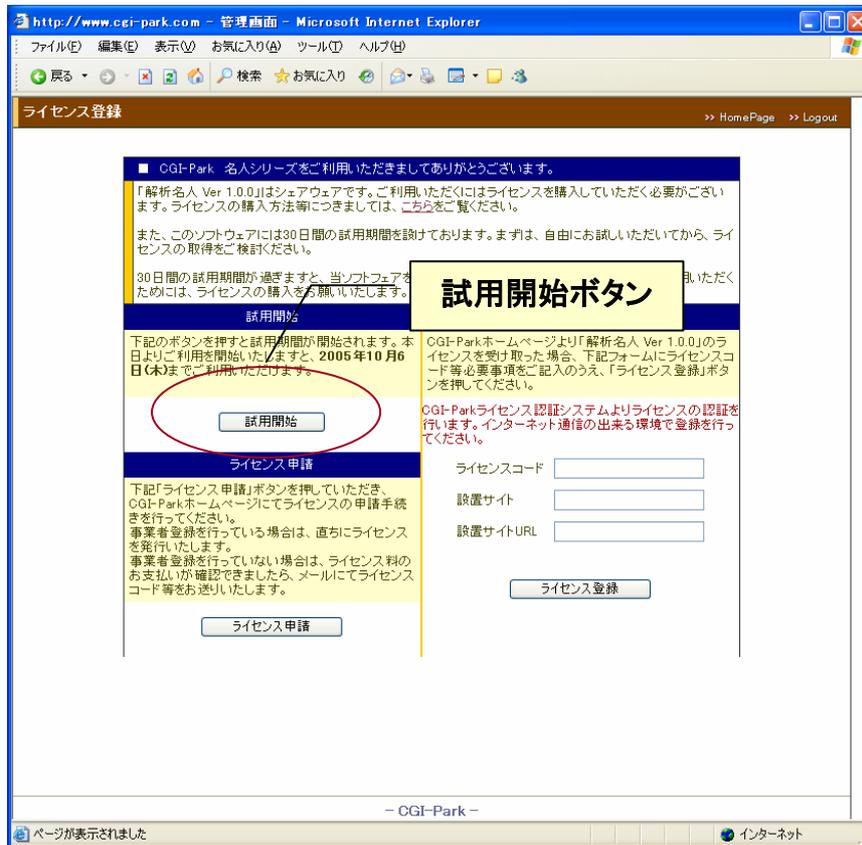
となります。今後、本ソフトの管理画面にアクセスする際は、上記URLにアクセスしてください。

また、このページをお気に入りに登録しておくことをおすすめします。

4. 管理画面の設定

4-1. 試用開始

- ✓ セットアップが無事完了すると下記の画面が現れます。



本ソフトは30日間の試用期間が設けられていますので、ライセンスの購入を行なう前に試用してみたい場合は、「試用開始」ボタンをクリックしてください。30日間の試用期間が与えられ、自由に操作することができるようになります。

「試用開始」ボタンを押すと「リクエストされた URL は、このサーバ上には見つかりません。」という画面になって試用期間を開始できない場合は、前項「2-4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定」の設定を行う必要があります。本ソフトを実行する環境がSSL領域ではなくてもお使いのサーバの仕様上この設定が必要な場合があります。

4. 管理画面の設定

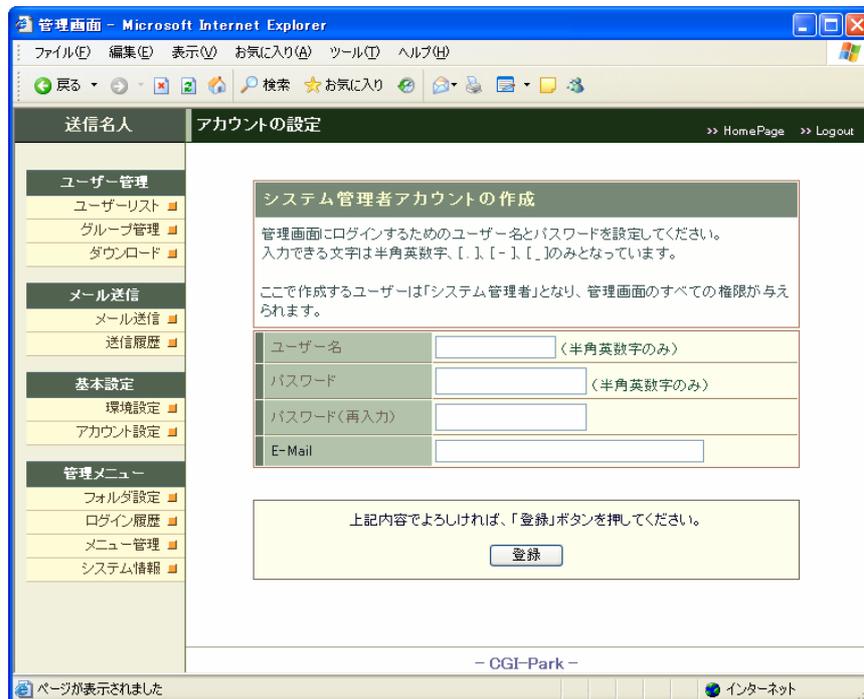
4-2. システム管理者パスワードの設定

✓ システム管理者のパスワードを設定する

管理画面に最初にアクセスすると、下記のような管理者アカウントの作成画面が現れます。

本ソフトでは管理者権限を「システム管理者」と「ホームページ管理者」の2つの権限の管理者アカウントを作成することができます。

まず最初にすべての管理権限が与えられるシステム管理者のアカウントを作成します。



システム管理者アカウントの作成画面

ユーザー名

半角英数字で入力してください。ユーザー名は、一度登録すると変更することは出来ませんので、ご注意ください。

パスワード

半角英数字で入力してください。入力されたパスワードは暗号化されて保存されるため、パスワードを紛失してしまっても確認することが出来ません。

システム管理者のパスワードを紛失して、管理画面にアクセスできなくなると、パスワードの再発行を行なえなくなりますので、十分にご注意ください。

(HP管理者のパスワードは、システム管理者が再発行することが出来ます)

E-mail

管理者のメールアドレスの登録は、必須項目となっています。必ず入力してください。

管理者メールアドレスはシステムに異常が見つかった際の緊急連絡用に利用する場合があります。

4. 管理画面の設定

4-3. 環境設定 (1/3)

システム管理者の登録が完了すると「環境設定」画面に切り替わります。環境設定では、管理画面の動作設定やログ解析の方法等の設定が行なわれます。

環境設定画面

【システム基本情報】

- このシステムの名称
この管理画面の名称を入力してください。ここで設定された名称は管理画面の左上に表示されます。
- ホームページアドレス
本ソフトを設置したホームページのURLを入力してください。管理画面へ不正にアクセスされた場合、ここで設定されたアドレスにジャンプされます。
- 外部アクセス
「外部アクセスを遮断する」に設定した場合、正規のログインページ以外からのアクセスをブロックし管理画面への不正なアクセスを遮断することが出来ます。例えば、左側の管理メニューのリンク先をコピーし、リンク先のURLに含まれる管理画面に渡す引数を故意に変更してアクセスしてきた場合でも、その引数をシステムに渡す前にブロックすることが出来ます。

※マッキントッシュの一部のブラウザからアクセスした際、正しくアクセスしているのに、稀に外部アクセスとみなされて遮断してしまう場合があります。その場合、「許可する」にチェックを付け、この機能をオフにしてください。

4. 管理画面の設定

4-3. 環境設定 (2/3)

【初期設定】

➤ 初期アクセスメニュー

管理画面にアクセスした際に最初に表示する画面を設定してください。設定方法は「メニュー管理」で登録されているリンク先を記入してください。初期設定では「日別アクセス」が最初の画面になるように設定されています。

➤ Sendmailのパス

サーバのSendmailまでのパスを指定してください。通常は「/usr/sbin/sendmail」か「/usr/lib/sendmail」が一般的です。不明な場合は、サーバ管理者にご確認ください。

➤ メール送信エラーの通知先アドレス

システムから送信したメールが宛先不明で送信できなかった際の、配信エラーメールを受信するアドレスを設定してください。
(この設定はSendmailの-fオプションとして設定されます。もし、fオプションを許可していないサーバの場合は何も設定しないでください。)

➤ 親フレーム名

管理画面を呼び出しているフレームのフレーム名を指定してください。デフォルトは「admin」です。
管理画面メインプログラム「admin.cgi」を呼び出す際のフレームページ(index.html)のフレーム名になります。

➤ 左フレーム幅

管理画面の左メニューのフレーム幅を設定してください。デフォルトでは150ピクセルになっています。

➤ 右フレーム幅

管理画面の右メニューのフレーム幅を設定してください。デフォルトでは600ピクセルになっています。

➤ 管理画面のクッキー保存期間(日)

管理画面のクッキーの保存期間を設定してください。単位は日です。デフォルトでは10日間となっています。この日数より間を空けてアクセスすると再度ログインを求められます。

4. 管理画面の設定

4-3. 環境設定 (2/3)

【基本設定】

- ✓ **ユーザーリスト表示件数**
ユーザーリストの一覧表示で、1ページに表示するログの件数を設定してください。
何も設定しない場合は、登録されているログすべてが表示されるようになります。
- ✓ **メール送信履歴表示件数**
メール送信履歴の一覧表示で、1ページに表示するログの件数を設定してください。
何も設定しない場合は、登録されているログすべてが表示されるようになります。
- ✓ **一つのグループでの最大登録件数**
一つのグループに登録できるユーザーの最大数を設定してください。
一つのグループで多くのユーザーが登録されていると、メールの送信が行なえなかったりメール送信の際エラーになってしまう可能性があります。設置するサーバーのスペックにもよりますが、目安として1グループ1000件以下になるように設定してください。
- ✓ **日付表示方法**
登録日時や最終更新日などの日付を表示する際の表示方法を指定してください。
- ✓ **既定の差出人名**
メール送信を行なう際の既定の差出人名を設定してください。
- ✓ **既定の差出人メールアドレス**
メール送信を行なう際の既定の差出人メールアドレス (FROM) を設定してください。

■ 基本設定		変更
ユーザーリスト表示件数	20	ユーザーリストの一覧表示で、1ページに表示するログの件数を設定してください。 何も設定しない場合は、登録されているログすべてが表示されるようになります。
メール送信履歴表示件数	20	メール送信履歴の一覧表示で、1ページに表示するログの件数を設定してください。 何も設定しない場合は、登録されているログすべてが表示されるようになります。
一つのグループでの最大登録件数	500	一つのグループに登録できるユーザーの最大数を設定してください。 一つのグループで多くのユーザーが登録されていると、メールの送信が行なえなかったりメール送信の際エラーになってしまう可能性があります。設置するサーバーのスペックにもよりますが、目安として1グループ1000件以下になるように設定してください。
日付表示方法	2005-02-30	登録日時や最終更新日などの日付を表示する際の表示方法を指定してください。
既定の差出人名		メール送信を行なう際の既定の差出人名を設定してください。
既定の差出人メールアドレス		メール送信を行なう際の既定の差出人メールアドレス (FROM) を設定してください。

4. 管理画面の設定

4-4. フォルダ位置の設定 (1/2)

本ソフトをセットアップした最初状態では、ログファイルの格納フォルダなどがブラウザから直接アクセスすることの出来る「WEB公開領域」におかれています。そのままにしておくと悪意のある第三者から不正にアクセスされ、ログファイルの中身を盗み見られてしまう可能性が出てきます。

そのような危険な状態を回避するためにも、セットアップ後は必ずフォルダの移動を行なう必要があります。

下記の例を参考にログファイル格納フォルダを適切な位置に移動してください。

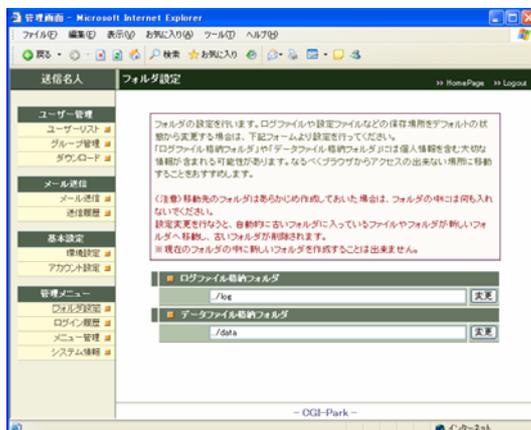
1. 非公開フォルダの作成

まず、「web」フォルダをWEB公開フォルダと仮定するとそれと同じ階層に「cgi-data」フォルダ(フォルダ名は任意)をFTPソフト等を使って作成します。



2. 管理画面での操作

管理画面の左側のメニューより「フォルダ設定」をクリックする。



本ソフトでは下記のフォルダが設定可能フォルダとなっています。

【ログファイル格納フォルダ】

システムが生成したログファイルや設定ファイルが格納されています。

【データファイル格納フォルダ】

システムで使用する各種設定ファイル等が格納されています。

4. 管理画面の設定

4-4. フォルダ位置の設定 (2/2)

本ソフトを設置したフォルダが「/web/cgi-bin/sousin/」フォルダとすると、管理画面のメイン CGI ファイルは「/web/cgi-bin/sousin/cgi/admin.cgi」にあり、ここから見た、新しいフォルダまでの相対パスを指定して、「変更」ボタンを押すことで、フォルダとその中に格納されているファイルが移動します。

先ほど「/cgi-data」フォルダを作成したので、そこに「ログファイル格納フォルダ」を移動する場合、移動先のフォルダ名を「sousin_log」とすると、

移動前の位置 [/web/cgi-data/sousin/log]

↓

移動後の位置 [/cgi-dta/sousin_log/]

という移動を行なうので、新しいフォルダまでのパスは

[../../../../cgi-data/sousin_log]

となります。

変更処理が正常に完了すると、変更前のログファイル格納フォルダ「/web/cgi-bin/sousin/log/」がなくなり、その中に入っていたフォルダやファイルはすべて「/cgi-data/sousin_log/」の中に移動します。

(注意事項)

・移動先のフォルダはあらかじめ作成しておいた場合 (sousin_log フォルダをあらかじめ作っておいた場合) は、フォルダの中には何も入れないでください。万が一ファイル等が入っていた場合は、エラーとなり移動処理が行なえません。

・上記例の場合、[sousin_log] フォルダは作成しておく必要はありませんが、[cgi-data] フォルダは事前に作成しておく必要があります。移動先のフォルダがない場合は移動処理が行なえません。

・現在のフォルダの中に新しいフォルダを作成して、そこに移動することは出来ません。

例) 移動前 /web/cgi-bin/sousin/log/

↓

移動後 /web/cgi-bin/sousin/log/new_log/

5. グループの管理

システム管理者マニュアル Ver1.1

5-2. グループのテーブル設定

グループに登録するユーザー情報はデフォルトで「管理番号」「登録日」「最終更新日」「メールアドレス」の4項目です。「メールアドレス」以外の項目は登録時に自動的に付加されます。

ユーザー情報としてメールアドレス以外に会社名や名前など属性情報を持たせたい場合は、グループごとのテーブル設定で設定することが出来ます。追加したユーザー属性は送信するメールに埋め込んで送信することが出来ます。

グループのテーブル設定を参照するにはグループ一覧より「テーブル設定」をクリックしてください。(図1)

テーブル設定では、新に登録したユーザー属性の修正や順序の変更が行なえます。

✓ 属性情報を追加する場合は、「ユーザー属性の追加」ボタンをクリックしてください。(図2)

- **識別キー**
登録する属性名に対する識別キーを半角英数字で入力してください。識別キーは属性情報をメールに埋め込む際に利用されます。
- **属性名**
登録したい属性の名前を入力してください。ユーザー登録を行なう際の入力項目名となります。
- **フォームの種類**
ユーザー登録を行なう際の入力フォームを「一行テキストフォーム」か「複数行テキストフォーム」かを選択してください。

■ 20代の会員のテーブル設定

20代の会員に登録されるユーザーリストのテーブル設定を行ないます。ユーザー情報としてメールアドレス以外に名前や、性別など登録する属性情報がある場合は、「ユーザー属性の追加」ボタンをクリックして新しい属性を登録してください。追加されたユーザー属性は送信するメールに埋め込んで送信することが出来ます。

①

ユーザー属性の追加 >>

列	フィールド名	識別キー	フォームの種類	編集	削除	順序
1	管理番号	code				
2	登録日	time				
3	最終更新日	uptime				
4	メールアドレス	e-mail				

図1: テーブル設定

■ 項目設定 (20代の会員)

下記のフォームに必要事項を記入し、「登録」ボタンを押してください。すべて必須項目です。

識別キー: company (半角英数字・重複不可)
例) name

属性名: 会社名
例) 名前

フォームの種類: 一行テキスト 複数行テキスト

上記内容でよろしければ、「登録」ボタンを押してください。

②

登録

図2: ユーザー属性の登録

■ 20代の会員の個別登録

20代の会員にユーザーの個別登録・修正を行ないます。下記のフォームに必要事項を記入して「登録」ボタンを押してください。メールアドレスは必須項目です。必ず入力してください。

登録するグループ: 20代の会員

メールアドレス: (半角英数字)

会社名:

名前:

備考欄:

メール送信停止: 一時的にメール送信を行わないようにする場合チェックを付けてください。

③

登録

図3: ユーザーの個別登録フォーム

■ 項目設定の登録が完了しました

company(会社名)の登録が完了しました。

続けて入力を行う場合は「続けて入力」を押してください。一覧に戻るには「一覧へ戻る」を押してください。

④

<<一覧へ戻る

続けて入力 >>

ユーザー属性の追加 >>

列	フィールド名	識別キー	フォームの種類	編集	削除	順序
1	管理番号	code				
2	登録日	time				
3	最終更新日	uptime				
4	メールアドレス	e-mail				
5	会社名	company	一行テキスト	編集	削除	↓
6	名前	name	一行テキスト	編集	削除	↑ ↓
7	備考欄	memo	複数行テキスト	編集	削除	↑ ↓

6. ユーザーの管理

6-1. ユーザー管理について

管理メニューの「ユーザーリスト」をクリックすると、登録されているユーザーの一覧が表示されます。

- ✓ グループの切り替え

ユーザーはグループごとに登録されているので、複数のグループが登録されている場合は、「グループの切り替え」より表示したいグループに切り替えてください。

現在表示しているグループに対して、ユーザーの登録や削除、メールの送信を行なうためのメニューボタンが表示されます。

- ✓ 一覧のカスタマイズ

ユーザーリストに表示する項目(登録日やメールアドレス)は自由に変更することが出来ます。

一覧ページの「一覧のカスタマイズ」をクリックすると図2の設定画面になります。

チェックのついている項目が一覧で表示される項目です。

ただし、「管理番号」は必ず一覧で表示されます。

- ✓ ユーザーの検索

現在表示しているグループの中からユーザーの検索を行なうには「ユーザー検索」フォームにキーワードを入力して「検索」ボタンを押してください。登録されているすべての項目から検索を行ないます。

表示したいグループを選択して「変更」ボタンをクリック



図1:ユーザーリスト

現在表示されているグループに対するメニューボタン

一覧に表示させたい項目にチェックを付けて「変更」ボタンをクリック



図2:一覧のカスタマイズ

6. ユーザーの管理

6-2. ユーザーの登録 (2/2)

ユーザーファイルの準備が出来たら、管理画面より取り込みを行ないます。

20代の会員にユーザーの一括登録を行ないます。
 1件のユーザー情報を1行で記入し、「メールアドレス」「名前」「性別」などメールアドレス以外の情報も登録する場合は、コンマ又はタブで区切って入力してください。(メールアドレス以外の情報を登録する場合は、あらかじめこちらで設定しておく必要があります。)
 また、複数のユーザーを登録する場合は、改行で区切って入力してください。

注意: 拡張子が[xls]となっているエクセルファイルからは直接取り込みことは出来ません。CSV形式のファイルに変換してから取り込んでください。

登録するグループ	20代の会員																										
区切り文字	<input checked="" type="radio"/> タブ <input type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> なし																										
ファイルから取り込む	<input type="text"/>	<input type="button" value="参照..."/>	<input type="button" value="↓取り込み"/>																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>山田太郎</td><td>山田放送株式会社</td><td>yamada@yamda.com</td></tr> <tr><td>山田次郎</td><td>有限会社 山田塗装</td><td>jiro@yamada.net</td></tr> <tr><td>山本三郎</td><td>山本工業</td><td>yamamoto@yamayama.jp</td></tr> <tr><td>佐藤一郎</td><td>佐藤水産</td><td>sato@satosuisan.co.jp</td></tr> <tr><td>鈴木太郎</td><td>フラワーショップ鈴木</td><td>suzuki@hanasuzuki.ul</td></tr> <tr><td>田中次郎</td><td>田中商店</td><td>info@tanakasyouten.com</td></tr> <tr><td>加藤四郎</td><td>株式会社 加藤工務店</td><td>kato@koumuten.com</td></tr> <tr><td>伊藤花子</td><td>伊藤デザインオフィス</td><td>ito@itoitoito.it</td></tr> </table>				山田太郎	山田放送株式会社	yamada@yamda.com	山田次郎	有限会社 山田塗装	jiro@yamada.net	山本三郎	山本工業	yamamoto@yamayama.jp	佐藤一郎	佐藤水産	sato@satosuisan.co.jp	鈴木太郎	フラワーショップ鈴木	suzuki@hanasuzuki.ul	田中次郎	田中商店	info@tanakasyouten.com	加藤四郎	株式会社 加藤工務店	kato@koumuten.com	伊藤花子	伊藤デザインオフィス	ito@itoitoito.it
山田太郎	山田放送株式会社	yamada@yamda.com																									
山田次郎	有限会社 山田塗装	jiro@yamada.net																									
山本三郎	山本工業	yamamoto@yamayama.jp																									
佐藤一郎	佐藤水産	sato@satosuisan.co.jp																									
鈴木太郎	フラワーショップ鈴木	suzuki@hanasuzuki.ul																									
田中次郎	田中商店	info@tanakasyouten.com																									
加藤四郎	株式会社 加藤工務店	kato@koumuten.com																									
伊藤花子	伊藤デザインオフィス	ito@itoitoito.it																									
メモ1: ファイルから取り込むのではなく、上記フォームに直接書き込んで登録することも出来ます。 メモ2: エクセルで作成したデータを登録する場合、登録したい領域を選択しコピーしたものを上記のフォームに貼り付けるとタブ区切りのデータになります。																											
登録するデータとユーザーリストのフィールドの関連付けを行なってください。 たとえば登録するデータの1列目がメールアドレスの場合は、メールアドレスの項目に「1」と入力してください。 割り当てない場合は何も入力しないでください。																											
メールアドレス *	3	列目																									
会社名	2	列目																									
名前	1	列目																									
備考欄	4	列目																									

登録を行ないたいグループ名になっているか確認してください。

取り込むユーザーファイルの区切り記号がタブなのかカンマなのか、もしくはメールアドレスのみで列の区切りがない場合なのかを選択してください。

参照ボタンをクリックしてユーザーファイルを選択し、「取り込み」ボタンを押してください。
 下の複数行フォームにファイルの内容が表示されます。
 ファイルから取り込む以外でもフォームに直接ユーザー情報を打ち込んだり、エクセル等からコピー&ペーストで貼り付けても同様に一括登録が行なえます。

登録するデータとユーザーリストのフィールドの関連付けを行ないます。
 たとえば、登録するデータが「1列目=名前、2列目=会社名、3列目=メールアドレス、4列目=備考欄」という順に作成されていたとすると、図のような設定になります。
 ただし、割り当てない場合は何も入力しないでください。

図1: 一括登録フォーム

一括登録の確認

8件のレコードを追加します。よろしければ登録実行ボタンを押してください

登録を実行するレコード	8件															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>伊藤花子</td><td>伊藤デザインオフィス</td><td>ito@itoitoito.it</td></tr> <tr><td>加藤四郎</td><td>株式会社 加藤工務店</td><td>kato@koumuten.com</td></tr> <tr><td>田中次郎</td><td>田中商店</td><td>info@tanakasyouten.com</td></tr> <tr><td>鈴木太郎</td><td>フラワーショップ鈴木</td><td>suzuki@hanasuzuki.ul</td></tr> <tr><td>佐藤一郎</td><td>佐藤水産</td><td>sato@satosuisan.co.jp</td></tr> </table>		伊藤花子	伊藤デザインオフィス	ito@itoitoito.it	加藤四郎	株式会社 加藤工務店	kato@koumuten.com	田中次郎	田中商店	info@tanakasyouten.com	鈴木太郎	フラワーショップ鈴木	suzuki@hanasuzuki.ul	佐藤一郎	佐藤水産	sato@satosuisan.co.jp
伊藤花子	伊藤デザインオフィス	ito@itoitoito.it														
加藤四郎	株式会社 加藤工務店	kato@koumuten.com														
田中次郎	田中商店	info@tanakasyouten.com														
鈴木太郎	フラワーショップ鈴木	suzuki@hanasuzuki.ul														
佐藤一郎	佐藤水産	sato@satosuisan.co.jp														
重複しているレコード(登録不可)	0件															
メールアドレスが不正なレコード(登録不可)	0件															

登録を実行するレコード
 ここで表示されているレコードがグループへ登録されます。

グループ内にすでにメールアドレスが登録されている場合や、メールアドレスが不正なため登録が行えないレコード。

図2: 登録内容の確認

6. ユーザーの管理

6-4. ユーザーリストのダウンロード

ユーザーリストファイルのダウンロードを行なうには、管理メニューの「ダウンロード」にアクセスし(図1)、ダウンロードを行ないたいグループのところの「ダウンロード」のリンクをクリックしてください。

また、ユーザーリストより、ダウンロードを行ないたいグループに切り替えて「CSVダウンロード」をクリックしてもダウンロードが行なえます。

図2のダウンロードの確認画面では、ファイルを保存する際のファイル名とデータを区切るための区切り記号、ダウンロードファイルの一行目にフィールド名を入れるか入れないかの設定が行なえます。

ファイル名の拡張子を[csv]とし、区切り記号を[カンマ]を選択するとそのままエクセル等の表計算ソフトで開ける形式になります。

必要な設定を行ない、「ダウンロード」ボタンをクリックすると、「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されますので、お使いのPCの任意の場所に保存してください。

現在保存されているグループ別のユーザーデータ一覧です。
ログファイルをダウンロードするには、「ダウンロード」をクリックしてください。ダウンロードしたファイルはCSV形式で保存することが出来るので、ダウンロード後エクセル等の表計算ソフトで編集することが出来ます。

グループ名	ユーザー数	ファイルサイズ	ダウンロード
20代の会員	9件	736Byte	ダウンロード

図1:ダウンロードファイル選択画面

■ 20代の会員のユーザーデータのダウンロード

ログファイル情報

グループ名	20代の会員
ログ件数	9件
ファイルサイズ	736Byte byte

ダウンロード設定

ファイル名	20代の会員.csv
区切り記号	<input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> タブ
フィールド名	<input checked="" type="checkbox"/> 最初の1行目にフィールド名を追加する

上記内容でよろしければ、「ダウンロード」ボタンを押してください。

ダウンロード

図2:ダウンロード確認画面

7. メールの送信

7-1. メールの送信(個別送信)

ユーザー一人一人に対して個別にメールを送信したい場合は「個別送信」を行います。個別送信は、メールアドレスや名前といったユーザーの属性情報をメールの本文に埋め込んで一人一人別々のメールを一斉に送信します。

- ✓ **ユーザーの属性情報のメールへの埋め込み方法**
 メール本文にユーザー属性情報を埋め込むためには、メール本文に図2の変換キーをメール本文に埋め込みます。
 たとえば「名前」(変換キー:#mail#)と言う属性情報があるとすると、メール本文に「#name#様こんにちは。…」とすることで#name#という部分がユーザー属性として登録されている名前に変換されてます。

送信を行なうユーザーのグループを選択してください。カッコ内の数字は送信を行なうユーザーの数です。

ここをクリックすると別ウィンドウで属性情報の変換キーリストが表示されます。

「次へ」ボタンをクリックしていくと、実際に送信するメールの本文を確認することができます。

変換キーがユーザーの属性情報に正しく変換されているか確認してください。

20代の会員へメールの送信を行ないます。
下記フォームに必要事項を記入し、確認画面に進んでください。

■ 20代の会員へのメールの送信

送信グループ: 20代の会員 (9件)

送信方法:

- 個別送信[一人一人個別にメールを送信します。]
- 一斉送信[BCCを利用して、一斉にメールを送信します。]
- テスト送信[差出人で指定したメールアドレス宛にテスト送信します。]

 ★ 個別送信の場合のメール本文作成方法

差出人名: インテリアショップ サンプル

差出人メールアドレス: info@cgi-sample.com

件名: お客様だけの特別なご案内

本文:

#company#

#name# 様

いつもインテリアショップ サンプルをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

本日より1週間、#name#様だけの特別セールとしまして、全商品をなんと20%オフにて販売させていただきます。

この機会に是非当店オンラインショップをご利用いただけますようよろしくお願いいたします。

ご注文の際、お客様のメールアドレス「#email#」にてご注文ください。

ご登録いただいているメールアドレス以外でご注文いただきますと、20%オフのキャンペーン価格が適用されません。

それでは、#name#様のお越しをスタッフ一同、心よりお待ちしております。

送信確認画面:

送信グループ: 20代の会員 (9人登録)

送信方法: 個別送信

差出人名: インテリアショップ サンプル

差出人メールアドレス: info@cgi-sample.com

件名: お客様だけの特別なご案内

1/9通

To: yamada@yamada.com

山田放送株式会社

山田太郎 様

いつもインテリアショップ サンプルをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

本日より1週間、山田太郎様だけの特別セールとしまして、全商品をなんと20%オフにて販売させていただきます。

この機会に是非当店オンラインショップをご利用いただけますようよろしくお願いいたします。

ご注文の際、お客様のメールアドレス「yamada@yamada.com」にてご注文ください。

ご登録いただいているメールアドレス以外でご注文いただきますと、20%オフのキャンペーン価格が適用されません。

それでは、山田太郎様のお越しをスタッフ一同、心よりお待ちしております。

送信! (送信完了メッセージ)

図3: 送信メールの確認画面

図2: 変換キーリスト

7. メールの送信

7-3. メールの送信履歴

本ソフトで送信したメールはすべて履歴として保存されます。送信履歴は管理メニューの「送信履歴」で確認できます。

すべてのグループのメールの送信履歴です。
詳細をクリックすると送信したメールの詳細が確認できます。削除をクリックすると送信したメールの履歴を削除します。

■グループの切り替え 全一覧 変更

No	送信日時	件名	送信数	詳細	削除
2	2005/12/28 01:41	お客様だけの特別なご案内	9通	詳細	削除
1	2005/12/28 01:02	新商品発売のご案内	9通	詳細	削除

全2件 【No.1 ~ No.2】 1

グループの切り替えを行なうと、グループ別の送信履歴に切り替わります。

送信履歴を削除する場合は、削除リンクをクリックしてください。一度削除した送信履歴は元に戻すことが出来ません。

■メールの送信履歴

送信日時	2005年12月28日(水) 01:02
送信グループ	20代の会員
送信件数	9通
送信方法	一斉送信
差出人名	インテリアショップ サンプル
差出人メールアドレス	info@cgi-sample.com
件名	新商品発売のご案内

■□
いつもサンプル店をご利用いただき誠にありがとうございます。
このたび、サンプル店にて新商品を発売しました。
■□
.: '☆...*: . . '☆.: '☆...*: . . '☆.: '☆...*: . . '☆.: '☆...
◇=INDEX=====◇
【 1 】 数量限定、超お買い得商品 その上最大【15%還元】！
◆インテリアショップ サンプルから、おすすめ商品のご紹介
【 2 】 キッチン用品
【 3 】 調理機器
【 4 】 理美容グッズ
【 5 】 健康グッズ
【 6 】 生活家電
【 7 】 季節家電
【 8 】 キッチンにも「書棚」を！ すてきな関連書籍が盛りだくさんの「ブックストア」にもどうぞ！
◇=====◇
■□
【 1 】 数量限定、超お買い得商品 その上最大【15%還元】！
■□

詳細リンクをクリックすると、メール送信履歴の詳細情報が確認できます。詳細情報では、送信日時、送信グループ、送信件数などが確認できます。

メール送信履歴の詳細情報

8. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.1

8-2. 管理メニューの設定

✓ 管理画面のメニューアクセス権限を設定する

管理画面の左側メニューのアクセス権限設定が行なえます。
システム管理者向けのメニューなのか、ホームページ管理者向けのメニューなのかを切り替えます。
通常は特に変更する必要はありませんが、システム管理者向けのメニューをホームページ管理者でもアクセスできるようにしたり、逆にホームページ管理者向けのメニューをシステム管理者専用のメニューに変更したりする際に、ここで設定を行ないます。

管理メニューのアクセス権限を変更する場合は、チェックボックスのチェックを変更して、「アクセス権限の変更」ボタンをクリックしてください。
メニューをシステム管理者権限にして、ホームページ管理者にはアクセスできないようにするには、アクセス権限のチェックボックスにチェックを付けてください。

管理画面の左側メニューの設定が行なえます。
管理メニューのアクセス権限を変更する場合は、チェックボックスのチェックを変更して、「アクセス権限の変更」ボタンをクリックしてください。
メニューをシステム管理者権限にして、ホームページ管理者にはアクセスできないようにするには、アクセス権限のチェックボックスにチェックを付けてください。

メニュー	リンク先	アクセス権限
ユーザー管理		<input type="checkbox"/> システム管理者
ユーザーリスト	admin.cgi?html=user	<input type="checkbox"/> システム管理者
グループ管理	admin.cgi?html=group	<input type="checkbox"/> システム管理者
ダウンロード	admin.cgi?html=download	<input type="checkbox"/> システム管理者
メール送信		<input type="checkbox"/> システム管理者
メール送信	admin.cgi?html=mail	<input type="checkbox"/> システム管理者
送信履歴	admin.cgi?html=mail&action=log	<input type="checkbox"/> システム管理者
基本設定		<input type="checkbox"/> システム管理者
環境設定	admin.cgi?html=conf	<input type="checkbox"/> システム管理者
アカウント設定	admin.cgi?html=account	<input type="checkbox"/> システム管理者
管理メニュー		<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
フォルダ設定	admin.cgi?html=folder	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
ログイン履歴	admin.cgi?html=login&action=check	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
メニュー管理	admin.cgi?html=menu&action=setup	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
システム情報	admin.cgi?html=admin&action=show_license	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者

アクセス権限の変更

メニュー設定画面

8. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.1

8-3. 本ソフトのライセンス情報について

管理メニューの「システム情報」を選択すると、本ソフトに登録しているライセンス情報や商品のバージョン情報が確認できます。

また、CGI-Parkの商品データベースにアクセスし、最新のアップデートファイルが公開されていないか、確認します。もし、最新のアップデートファイルが公開されていれば、アップデート情報の欄に「最新のアップデートファイルが公開されています」といったメッセージが表示され、アップデートファイルが公開されているページのリンクが表示されます。

最新のアップデートファイルが公開されていればここにメッセージが表示されます。

アップデート情報
現在は最新の状態で。

■ バージョン情報	送信名人 Ver 1.0.0
■ ライセンスコード	L00100001-00011-00001
■ 設置サイト	CGI-Parkサンプル
■ 設置サイトURL	http://sample.cgi-park.com
■ テストサーバー	
■ 登録日時	2005年11月10日(木)

本ソフトのバージョン情報や、登録したライセンス情報が表示されます。

メンテナンス		
■ アップデート	システムのアップデートを行ないます。	>> GO
■ システム再構築	システムファイルを再構築します。	>> GO
■ 作業履歴	システムのアップデートや再構築の作業履歴が確認できます。	>> GO

システム情報

8. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.1

8-4. システムのアップデート (2/2)

✓ アップデートの開始

1. 管理メニューの「システム情報」を選択し、「アップデート」という項目のボタンをクリックします。
2. 「参照」ボタンをクリックし、CGI-Parkホームページより入手したアップデートファイル（拡張子が.cpmとなっているファイル）を選択し、「開く」ボタンを押してください。（図1）
3. ファイルを選択したら「確認」ボタンをクリックしてください。誤ったアップデートファイルを選択したら、エラーメッセージが表示されます。正しいファイルを選択しなおしてください。
正しいアップデートファイルを選択したら、アップデート内容の説明や、更新対象のファイル等の情報が確認できます。（図2）
4. アップデート情報を確認し、内容に問題がなければ「アップデート実行」ボタンを押してください。アップデートが実行され、システムの更新が開始されます。
5. アップデート処理が終了すると、アップデートの完了画面が表示されます。これでアップデート処理は正常に終了しました。

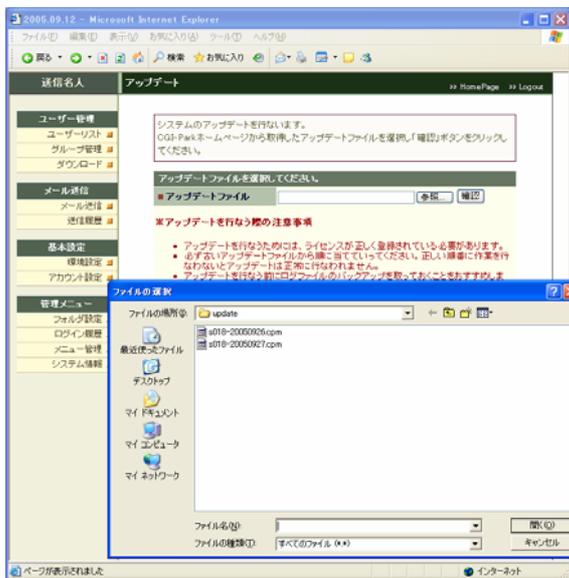


図1: アップデートファイルの選択

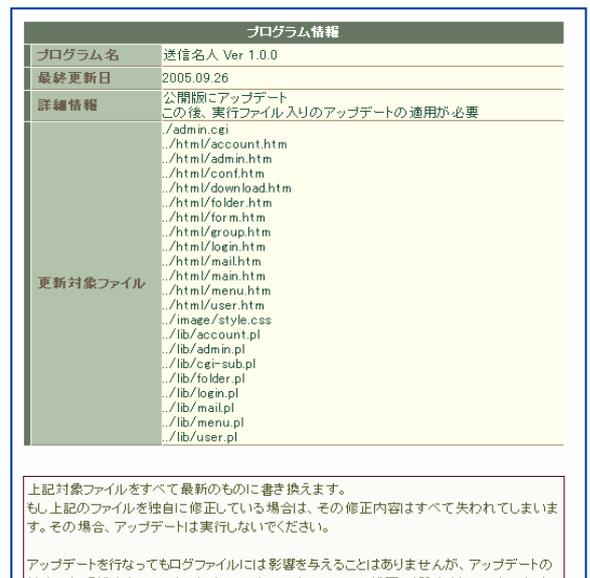


図2: アップデートファイルの確認

✓ アップデート履歴の確認

アップデートを行なった日時や処理内容が履歴として保存されます。「システム情報」ページの作業履歴の項目のボタンをクリックすると今まで行なったアップデート作業等が表示されます。

8. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.1

8-5. システムの再構築

✓ システムの再構築について

プログラムファイルやHTMLデザインファイル等が万が一破損して正しく処理が行えなくなってしまった場合、最後にアップデートを行ったときの状態にシステムを復元することが出来ます。

✓ 再構築を実行するうえでの注意事項

・本ソフトは、基本的には改造不可としていますが、もし、何らかの改造を加えた場合は、再構築を行なうことで、改造を施したファイルが元のファイルに上書きされ、元に戻ってしまう可能性があります。

・再構築処理は、設置しているサーバの環境により正しく行えない場合もあるかもしれません。万が一のトラブルに備え、事前にログファイル等をバックアップしてから再構築を行なうことをおすすめします。

万が一再構築により、システムが破損してしまった場合でも、当社では一切責任を負いかねますので、再構築を実施する際は、バックアップをとった上で自己の責任において実施してください。

✓ 再構築を実行する

1. 管理メニューの「システム情報」を選択し、システム再構築の項目のボタンをクリックしてください。
2. 再構築の確認画面が表示されます。(図1)
更新対象ファイルという項目で表示されているファイルが、再構築を実行するファイルの一覧です。もしこの中に更新したくないファイルが含まれている場合は、再構築は行わないでください。再構築を行なうことで、初期状態に戻ってしまいます。
3. 更新ファイルを確認し、再構築を行なってもよろしければ「再構築を実行」ボタンをクリックしてください。再構築の処理が開始されます。
4. 処理が完了すると、再構築の完了画面に切り替わります。これで、再構築処理が正常に終了しました。

システムの再構築を実施します。
よろしければ「再構築を実行」ボタンを押してください。

プログラム情報	
プログラム名	送信名人 Ver 1.0.0
最終更新日	2005.09.27
更新対象ファイル	<pre> /admin.cgi ../../../../cgi-data/s018/data/account.db ../../../../cgi-data/s018/data/conf.db ../../../../cgi-data/s018/data/form.db ../../../../cgi-data/s018/data/index.htm ../../../../cgi-data/s018/data/login.db ../../../../cgi-data/s018/data/mail.db ../../../../cgi-data/s018/data/up_record.db ../../../../cgi-data/s018/data/user.db ./html/account.htm ./html/admin.htm ./html/conf.htm ./html/download.htm ./html/folder.htm ./html/form.htm ./html/group.htm ./html/login.htm ./html/mail.htm ./html/main.htm ./html/menu.htm ./html/user.htm ./lib/account.pl ./lib/admin.pl ./lib/cgi-lib.pl ./lib/cgi-sub.pl ./lib/conf.pl ./lib/download.pl ./lib/folder.pl ./lib/form.pl ./lib/group.pl ./lib/jcode.pl ./lib/login.pl ./lib/mail.pl ./lib/menu.pl ./lib/user.pl </pre>

上記対象ファイルをすべて再構築します。
もし上記のファイルを独自に修正している場合は、その修正内容はすべて失われてしまいます。その場合、再構築は実行しないでください。

再構築を行ってもログファイルには影響を与えることはありませんが、再構築の途中で処理が止まったり、ファイルのパーミッションが正しく設定されていないためにエラーに
なったり、再構築後最新の運用状態を反映しきれない可能性があります。

図1:再構築の確認画面